



姉は母に引き取られた。

昭和三十三年頃両親が離婚。父と暮らす事に...

マンガ版“ディスカバー” ゆぬぶし 秀一



昭和三十一年十二月二日 東京都 国立町（現市） 犬伏秀一誕生。



同年千葉県市川市の叔父（父の兄）宅で居候。



昭和四十二年八月日父が胃ガン、肺ガン肝臓ガンを煩い他界。四十二歳だった。



昭和四十七年四月親から独立すべく航空自衛隊生徒十八期（高校相当）に出願、合格。

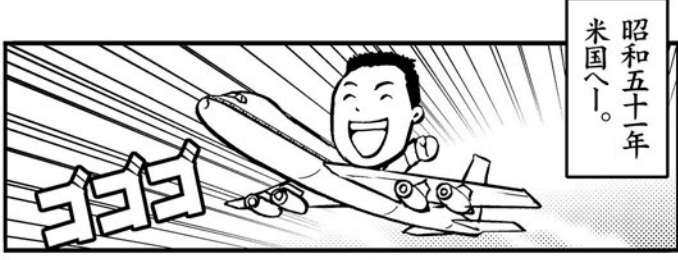


学力試験校内常に十位以内。

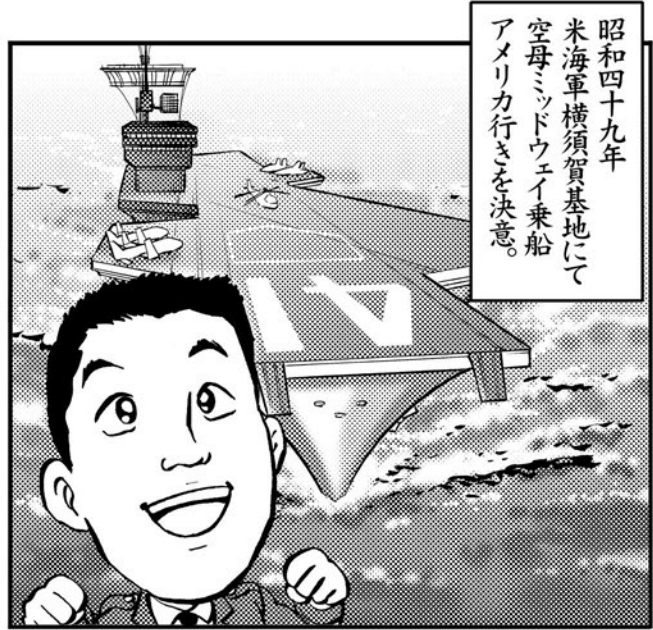
中学時代は生徒会副会長テニス部では市民大会二年連続優勝。



昭和四十五年母の嫁ぎ先の養子となる。



昭和五十一年米國へ！



昭和四十九年米海軍横須賀基地にて空母ミッドウェイ乗船アメリカ行きを決意。



日本料理店で血洗いをしながらサンノゼ市立大学へ。

そのかたわら、ホームステイを扱う旅行会社を設立。

昭和五十二年 帰国
羽田からバスに乗り、
降り立ったところが
大田区桃谷駅前。

一万八千円のアパートを借り、
働きながら夜間上智大学コ
ミュニカレッジにて、
会計学、経営学を学ぶ。

昭和五十四年
大田区西桃谷に
旅行会社設立。
順調に売り上げを
伸ばす……が、

海外テロ、不況、関連
大企業の理不尽な保証
金要求の為、平成十三
年末に事業転換。

昭和五十六年
留学中に知り合った
知子夫人と結婚。

昭和六十二年
航空自衛隊予備
自衛官に志願。

毎年五日間の
訓練に出頭。
現在も続けて
いる。

平成十年
中小企業や商店など民間の
深刻さを、公務員が中々
理解出来ない事に腹を立て
再び出馬。
区議会議員当選を果たす。

平成六年
大前研一氏主宰の
一新塾にて、政治
学を学ぶ。

この時、
大いに学び、
大いに刺激を
受ける。

平成七年
区議選に出馬。

中傷と戦い
奮戦するも六百票
余り足りず落選。

当選後は、区立学校や
区職員の疑惑払拭に
孤軍奮闘。
『教員、公務員の天敵』
と言われながらも大きな
実績を上げる。

いつも、
区内をお掃除
しながら
街頭演説。

政治スタンスは、
『区民の常識を区役所へ』
お役人だけで、意志決定
してしまいうプロセスを解消。
透明性の高い区政へ。
無駄の多い、高コストの行政の
見直し。
支出削減↓財政再建
既得権意識の強い、公務員の
意識改革。

例：給食の皿を3枚づつ使用するべきを、2枚に
削減していた。これを改善指導。
学校警備職員の残業年間110万円を削減。
年間1億円削減。
学校職員が昼休みに残業代を貰っている。
5千万円削減。
教員の実態不明の「自宅研修」廃止。

ヒソヒソ密室行政
民間委託反対！
給料上げろ！
休暇よせ！

区長与党でありながら、
常に是非々々！
区民与党！いぬし秀一

ガンバレ！
大休！！